

# 公益財団法人日本パラスポーツ協会（JPSA）公認障がい者スポーツ指導員資格取得認定校について

## 1. 資格取得認定校制度とは

■公益財団法人日本パラスポーツ協会（JPSA）では、大学・短大や専門学校に在籍する学生のみなさんが学校の授業をとおして障がい者スポーツを学び、「障がい者スポーツ指導員（初級・中級）」の資格取得ができる資格取得認定校制度を設けています。

## 2. 基準カリキュラムの実施について

■JPSA 公認障がい者スポーツ指導員基準カリキュラムに相当する内容を学校で実施します。  
なお、関連する科目により置き換えることが可能です。（裏面 6.を参照）

## 3. 取得できる資格について

### 1. 初級障がい者スポーツ指導員

地域で活動する 18 歳以上の指導者で、主に初めてスポーツへ参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者。また、障がいの基本内容を理解し、スポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身につけ、実践にあたっては、健康や安全管理を重視した指導ができる者。さらに、地域の大会や行事に参加すると共に、指導員組織の事業にも積極的に参加するなど地域の障がい者スポーツの振興を支える者。

※初級は修業年数が 2 年以上の学校が対象です。

### 2. 中級障がい者スポーツ指導員

地域における障がい者スポーツのリーダーとしての役割を持ち、指導現場では、十分な知識、技術と経験に基づいた指導ができ、指導員の模範となる者。また、地域のスポーツ大会や行事の企画・運営に参加すると共に、全国障害者スポーツ大会に参加する選手団のコーチとして、選手選考やその強化・育成の役割を担う者。さらに、指導員の組織化や運営にも関わり、地域の障がい者スポーツ振興を進める者。

※中級は修業年数が 4 年以上の学校が対象です。

## 4. 資格を活かせる場

- ・スポーツ関連施設（障がい者スポーツセンター、総合型地域スポーツクラブ、フィットネスクラブなど）
- ・障がい者スポーツ団体（クラブ、サークル、スポーツ少年団など）
- ・教育機関（普通学校、特別支援学校、特別支援学級）
- ・福祉施設、医療現場（特別養護老人ホーム、病院、リハビリテーションセンターなど）

第 2 期スポーツ基本計画では「スポーツを通じた共生社会等の実現」が掲げられ、今後は障がいの有無に関わらず多様なスポーツ活動に対し、サポートできる人材が求められます。  
障がい者のスポーツに関する資格を取得し、学びの幅を広げましょう！

## 5. お問い合わせ

■詳しくは、公益財団法人日本パラスポーツ協会のホームページをご確認ください。  
申請に関する細かい流れや申請に必要な書類・登録料についてご案内しております。



日本パラスポーツ協会

検索

指導者情報 → 資格取得認定校について

<お問い合わせ先>

公益財団法人日本パラスポーツ協会 スポーツ推進部

TEL : 03-5695-5420 (直通) FAX : 03-5641-1213

MAIL : [y-takayama@parasports.or.jp](mailto:y-takayama@parasports.or.jp)

## 6. 資格取得認定校の登録から資格を取得するまで

### ■ JPSA 公認障がい者スポーツ指導員基準カリキュラム

※新カリキュラム版（2020年4月改正）

#### 中級認定校

#### 初級認定校

##### 【初級カリキュラム（21.0h以上）】

- ・障がい者スポーツに関する諸施策 ・障がい者スポーツの意義と理念
- ・安全管理 ・各障がいの理解 ・全国障害者スポーツ大会の概要
- ・各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫（実技）
- ・障がいのある人との交流（実技・実習可）
- ・スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質
- ・コミュニケーションスキルの基礎（含演習）
- ・障がい者スポーツ推進の取り組み

##### 【中級カリキュラム（57.0h以上）】

- ・障がい各論 ・スポーツの意義と価値（含演習） ・補装具の理解 ・身体の仕組みと体づくり
- ・発育・発達に応じた指導法 ・救急処置法（実技） ・スポーツ心理学Ⅰ ・リスクマネジメント
- ・障がい者のスポーツ指導における留意点 ・最重度障がい者のスポーツの実際（見学・実技可）
- ・全国障害者スポーツ大会の歴史と目的・意義 ・全国障害者スポーツ大会の実施競技と障害区分
- ・全国障害者スポーツ大会選手団編成とスタッフの役割
- ・全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則（実技）
- ・障がい者スポーツ指導員としてのキャリア形成（含演習） ・地域における障がい者スポーツ振興

※中級障がい者スポーツ指導員の資格を取得するためには、初級・中級カリキュラムの修得に加えて 80 時間以上の障がい者スポーツに関する活動実績が必要です。

STEP 1

基準カリキュラム内容について、学校の開講科目で置き換えが可能か確認します。

申請の際は、基準カリキュラムと開講科目の内容が合致しているか、また、それぞれの内容について規定の時間数が足りているかを確認します。

大学、短期大学、専門学校



#### 基準カリキュラムの置き換え（例）

##### 【JPSA 基準カリキュラム】

- ・障がい者スポーツに関する諸施策（初級）
- ・身体の仕組みと体づくり（中級）
- ・各障がいの理解（初級）
- ・障がい各論（身体障がい、精神障がい、知的障がい）（中級）

##### 【学校の開講科目】

- ⇒ 障害者福祉論
- ⇒ 人体の構造、
- ⇒ リハビリテーション概論
- ⇒ リハビリテーション論・精神医学・基礎神経学

※既存の科目では置き換えが難しい場合は、科目を新設したり、不足する内容を関連する既存の科目内の補講で行うなどの方法もありますが、その際は内容の確認が必要になりますので、詳しくはご相談ください。

STEP 2

基準カリキュラムの内容が満たされていれば申請し、認定校として登録します。

申請

認定



公益財団法人日本パラスポーツ協会

STEP 3

授業を通して障がい者スポーツを学び、資格の取得を目指します。

授業

受講



学生

STEP 4

学校を通じて日本パラスポーツ協会へ申請することで障がい者スポーツ指導員として登録されます。

申請

認定・登録